

ＪＦＥスチール株式会社と日本水素エネルギー株式会社が「液化水素サプライチェーン商用化実証」を目的とする扇島地区の土地賃貸借契約を締結しました

川崎市では、ＪＦＥスチール株式会社高炉等休止後の扇島地区等における大規模土地利用転換の早期実現に向けて、令和 5 年 8 月に土地利用方針を策定し、取組を進めています。この度、ＪＦＥホールディングス株式会社及びＪＦＥスチール株式会社と日本水素エネルギー株式会社は、日本水素エネルギー株式会社が実施する「液化水素サプライチェーンの商用化実証 １」における液化水素受入地として、ＪＦＥスチール東日本製鉄所（京浜地区）扇島の土地（約 2.1 ha）を賃貸借することについて合意し、ＪＦＥスチール株式会社と日本水素エネルギー株式会社の間で土地賃貸借の予約契約を締結したことが発表されましたので、お知らせします。

「液化水素サプライチェーンの商用化実証」は、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構のグリーンイノベーション基金事業 2「大規模水素サプライチェーンの構築プロジェクト」の一環として、日本水素エネルギー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：原田 英一）が幹事会社として実施するものであり、令和 5 年 3 月に商用化実証の受入地として川崎臨海部が選定されています。

川崎市は、土地利用方針に示す扇島地区先導エリアにおける本実証事業の実施を起点に、カーボンニュートラルの実現と同時に、次代の柱となる新たな産業の創出を図るなど、地域の持続的発展と我が国の課題解決に資する効果的な大規模土地利用転換の早期実現に向け、引き続き関係者と協力して取り組んでまいります。

● ＪＦＥスチール株式会社と日本水素エネルギー株式会社プレスリリース

(<https://www.jfe-holdings.co.jp/release/2024/07/240725.html>)

1 液化水素サプライチェーンの商用化実証

事業期間：2021 年度～2030 年度（予定）

事業概要（https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101612.html）

2 グリーンイノベーション基金事業

日本の掲げる「2050 年カーボンニュートラル」に向けて、官民で野心的かつ具体的な目標を共有した上で、これに経営課題として取り組む企業などに対して研究開発・実証から社会実装まで 10 年間継続して支援する事業です。

特設サイト（<https://green-innovation.nedo.go.jp/>）

【本件に関する問合せ先】

- 扇島地区の土地利用に関すること：川崎市臨海部国際戦略本部 戦略拠点推進室 坂本
電話：044-200-0253
- 液化水素の商用化実証に関すること：川崎市臨海部国際戦略本部 成長戦略推進部 野和田
電話：044-200-1740



2024 年 7 月 25 日

J F E ホールディングス株式会社

J F E スチール株式会社

日本水素エネルギー株式会社

**世界初の液化水素サプライチェーンに向けた商用化実証が大きく前進
ー J F E スチールと日本水素エネルギーが土地賃貸借契約を締結ー**

J F E ホールディングス株式会社（以下、J F E）、J F E スチール株式会社（以下、J F E スチール）と日本水素エネルギー株式会社（以下、日本水素エネルギー）は、日本水素エネルギーの実施する「液化水素サプライチェーンの商用化実証（以下、「本実証」）」を目的に、J F E スチール東日本製鉄所（京浜地区）扇島の土地（約 21 h a）を賃貸借することで合意し、本実証が大きく前進しましたので、お知らせします。

J F E は、J F E スチール東日本製鉄所（京浜地区）の高炉等上工程休止後の土地活用について、川崎市との間で相互の協力に関する協定（2021 年 2 月 1 日付）や扇島地区先導エリアの整備推進に関する協定（2024 年 5 月 28 日付）を締結し、日本のカーボンニュートラルを先導するなど、地域・社会の持続的な発展および国の重点課題の解決に資する土地利用転換に取り組んでいます。

川崎市の土地利用方針において先導的なプロジェクトに位置付けられている本実証を受け入れることが、扇島の土地利用転換の第一歩となります。J F E は、市と連携して、実証開始に向けて道路・交通アクセスや液化水素運搬船の受け入れ環境の整備を推進していく考えです。

日本水素エネルギーは、2021 年 8 月に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（N E D O）のグリーンイノベーション基金事業に採択された「液化水素サプライチェーンの商用化実証＊ 1」に取り組んでおり、2030 年代の国際水素サプライチェーンの商用運転に向け、本実証では大規模な液化水素の海上輸送技術の確立を目指しています。

本実証を進めるにあたり、扇島地区は日本有数の工業地帯である京浜工業地帯に属し、水素需要のポテンシャルが見込めることから、本実証の液化水素受け入れ地として選択しました。

このたび、対象土地を所有する J F E スチールと日本水素エネルギーとの間で、土地賃貸借の予約契約を締結しました。J F E スチールは対象地の既存建物の撤去等を速やかに実施し、その後、日本水素エネルギーが、本実証の設備建設を開始する予定です。日本水素エネルギーは 2028 年度の設備建設完了、2029 年度の液化水素運搬船入港、2030 年度の本実証完了、および同年度中の日本国内への水素供給開始に向け取り組みを進めてまいります。

3 社は、本契約を通じて扇島を起点に日本の水素社会の実現を先導し、地域・社会の持続的な発展、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

＊1 「液化水素サプライチェーンの商用化実証」

事業期間：2021 年度～2030 年度（予定）

事業概要：<https://green-innovation.nedo.go.jp/project/hydrogen-supply-chain/>

【対象地】



【契約締結の様子】



（写真左より、J F E スチール(株)代表取締役社長 広瀬政之、日本水素エネルギー(株)代表取締役社長 原田英一）

以 上

本件に関するお問い合わせは、下記をお願い致します。

J F E ホールディングス(株) I R 部広報室
日本水素エネルギー(株) CSE・渉外広報チーム

Tel 03(3597)3842
Tel 070-1550-7543